

沿革

1 Human
1st.

小さな診療所から始まった石川ヘルスケアグループの歩みは、地域の皆さまに支えられながら、医療・介護・福祉へと領域を広げてきました。時代の移り変わりとともに、私たちの果たすべき役割も変化してきましたが、根底にある「どんな患者も見捨てない」という信念は、今なお脈々と受け継がれています。ここに記す沿革は、地域とともに歩み続けてきた私たちの挑戦と成長の軌跡であり、未来へとつながる礎の記録です。



- PICK UP** 1970年4月 新宮診療所 所長を務める
- PICK UP** 1976年10月 石川外科医院 開院(19床)
- PICK UP** 1979年7月 医療法人緊愛会 石川病院 開院(80床)
- 1982年8月 病床数を20床増床(100床)
- PICK UP** 1983年4月 脳神経外科 開設



石川病院の集合写真

- 1983年7月 病床数を20床増床(120床)
- 1986年12月 病床数を35床増床(155床)
- PICK UP** 1986年12月 人間ドック 開設
- 1987年5月 人間ドック 日本病院会 認定



石川病院開設時のOP風景

1970

1970.4

無医村の医師として 新宮診療所の所長を務める

「地域医療に貢献したい」という強い思いを持っていた石川繁一は、長崎大学を卒業後、地元である旧新宮村(現：四国中央市)の診療所で医師として昼夜を問わず働いた。

1976.10

石川外科医院 開院(19床)

当時、この地域には救急患者を受け入れられる病院が十分になく、救急車は交通事故患者を香川県や徳島県まで数時間かけて搬送していた。このままでは「救える命も救えない」と考え、石川外科医院を開院した。



石川外科医院

1979.7

医療法人緊愛会 石川病院 開院(80床)

1日20件を超える救急対応に限界を感じ、病院設立を決意。理念を伝えるため大学に通い、医師派遣を依頼した結果、愛媛大学医学部第二外科の木村茂教授(当時)が賛同し、医師派遣が決定。これを受け、救急病院として医療法人緊愛会 石川病院を開院・拡大していった。



石川病院



当時の救急車



石川病院の診察風景



石川病院の回診風景



石川病院の待合室



石川病院の看護師たち



石川病院の看護師たち

1983.4

脳神経外科 開設

当時、約10万人が暮らす地域にも関わらず、脳卒中や頭部外傷に対応できる体制がなく、緊急患者は他県へ搬送せざるを得なかった。徳島大学脳神経外科に医師派遣を依頼し、松本圭蔵教授(当時)の協力を得て脳神経外科を開設し、順次拡大した。

1986.12

人間ドック 開設

健康管理事業として人間ドックを開設し、脳ドック、企業健診、市の国保ドックなどを展開。1987年には「人間ドック・健診施設機能評価」の認定を取得した。さらに、巡回バス健診「紙の町号」を開始し、地域での健診活動を広げた。



紙の町号

1987

- PICK UP** 1988年12月 社会福祉法人愛美会 設立
- PICK UP** 1989年4月 附属保育所 開設
- PICK UP** 1989年10月 特別養護老人ホーム「樋谷荘」開設
- 1990年5月 第1回樋谷まつり 開催(以降毎年開催)
- PICK UP** 1991年5月 老人保健施設アイリス 開設
- 1991年7月 川之江市在宅介護支援センター 受託運営開始
- PICK UP** 1992年9月 山口誓子句碑 設置
- PICK UP** 1994年3月 老人訪問看護ステーションいしかわ 開設
- 1994年5月 MRI 導入



老人保健施設 アイリスの送迎の様子

- 1995年1月 老人デイ・ケア 開設
- 1995年4月 六地藏尊 建立・開眼法要(以降毎年法要実施)
- 1995年9月 第1回ふれあいコンサート 開催(以降毎年開催)
- 1996年3月 巡回健診車「紙の町号」導入
- 1997年12月 2級ホームヘルパー養成所いしかわ 認可
- 1998年3月 石川病院看護婦宿舍 開所
- PICK UP** 1998年6月 軽費老人ホーム「ケアハウス虹の里」開設
- 1998年10月 「グループホーム虹の里」開設(入所定数8名)
- 1999年3月 1.5テスラMRI 導入
- 1999年10月 指定居宅介護支援事業所いしかわ 開設
- 1999年10月 指定居宅介護支援事業所ひのたに 開設



石川病院 デイ・ケア

1988

1988.12 社会福祉法人愛美会 設立

石川病院の満床状態が続き、治療後の患者の受け入れ先確保が課題となった。高齢化社会の到来を見据えた石川繁一は、社会福祉法人愛美会を設立。

- 【基本理念】 選ばれ、役に立ち、喜ばれる介護・福祉サービスを
- 【行動指針】 家庭のように、家族のように
人にやさしく、自分に厳しく
初心を忘れず、常に謙虚で
努力を惜しまず、労苦を厭わず
生涯勉強、日々成長
「ありがとう」と感謝の気持ちを忘れずに

1989.4 附属保育所 開設

看護師確保のため、病院附属の24時間保育所を開設し、看護師宿舍の整備も進めるなど、働きやすい環境づくりに取り組んだ。



当時の保育所の様子

1989.10 特別養護老人ホーム「樋谷荘」開設

高齢者福祉の充実を目的に特養を開設。高齢者が安心して暮らせる環境づくりへの大きな一歩となった。



レクリエーション風景



樋谷荘 外観

1991.5 老人保健施設アイリス 開設

高齢者が療養生活を送りながら在宅復帰を目指す環境を整えるため、医療と介護の両面から支援を行える老人保健施設を開設。



除幕式の記念写真

1992.9 山口誓子句碑 設置

「施設のシンボルとなるようなものが必要」との想いから、俳人・山口誓子氏の句碑を設置し、除幕式を実施。句碑には自然と人との共生、人生の深みを詠んだ誓子氏の言葉を刻み、訪れる人々に安らぎを与えるものとして設置した。



ケアハウス虹の里外観

1998.6 軽費老人ホーム「ケアハウス虹の里」開設

国が認める高齢者施設として開設。日常生活に必要な支援を提供する環境を整え、地域の高齢者福祉の向上を目的とした。

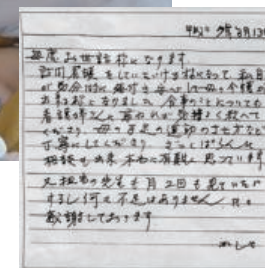
1999



当時の訪問看護の様子



当時のスタッフたち



当時のお礼の手紙



当時のスタッフたち

1994.3 老人訪問看護ステーションいしかわ 開設

介護保険制度導入前から在宅医療・福祉に取り組み、訪問看護ステーションを開設。その後、ヘルパーステーション、通所リハビリ、訪問リハビリを順次開始し、地域の高齢者が在宅で療養できる環境を整備した。

- 2000年2月 ヘルパーステーションいしかわ 開設
- 2000年2月 介護療養型医療施設 開設
- 2000年3月 通所リハビリテーション 開設
- 2000年3月 指定痴呆対応型共同生活介護事業
グループホーム虹の里 介護保険認可
- 2000年3月 リハビリ・介護サービス施設 拡充増改築
- 2000年3月 介護老人福祉施設「樋谷荘」介護保険認可
短期入所生活介護 通所介護
- 2000年4月 介護老人保健施設アイリス 介護保険認可
短期入所療養介護 通所リハビリテーション



ヘルパーステーションいしかわ

- PICK UP**
- 2000年8月 回復期リハビリテーション病棟 開床(49床)
 - 2001年4月 「樋谷荘」愛媛県教育委員会 長期社会体験研修事業 受託
 - 2001年6月 総合リハビリテーション 施設基準取得
 - 2002年2月 「樋谷荘」ベット数を24床増床(入所定数79名)
 - 2002年5月 マルチスライスヘリカルCT 導入
 - 2002年9月 宇摩地域リハビリテーション広域支援センター 認可
 - 2002年10月 日本医療機能評価機構 病院機能評価一般病院A 認定
 - PICK UP** ■ 2003年9月 臨床研修指定病院 指定



通所リハビリテーション 民謡教室の様子

- 2003年11月 院内LAN 導入
- 2004年3月 PACS(医療画像参照システム) 導入
- 2004年4月 グループホームいしかわ 開設(入所定数18名)
- 2004年4月 附属保育所 新築移転
- 2004年5月 マンモグラフィ 導入
- 2005年5月 日本人間ドック学会 人間ドック・健診施設機能評価 認定
- 2005年8月 献血運動推進協力団体として厚生労働大臣より感謝状贈呈



附属保育所

- PICK UP**
- 2005年12月 「樋谷荘」天皇陛下より御下賜金 拝受
 - PICK UP** ■ 2006年3月 ISO9001:2000 認定取得
 - 2006年3月 一般型通所介護いしかわ 開設(定員18名)
 - 2006年3月 認知症対応型通所介護いしかわ 開設(定員12名)
 - 2006年6月 糖尿病講座 開設
 - 2006年11月 四国老人福祉学会第26回大会 開催
 - 2007年3月 デイ・サービスセンター「むらまつ」開設(定員15名)
 - 2007年4月 四国中央市介護予防普及啓発事業 受託
 - PICK UP** ■ 2008年2月 電子カルテ 導入



一般型通所介護いしかわ

2000

2008

2000.8

回復期リハビリテーション病棟 開床(49床)

リハビリの早期介入による在宅復帰を見据え、新たに病棟を設置。さらに市内初の総合リハビリ施設として多数のセラピストを配置し、県から宇摩地域リハビリテーション広域支援センターの指定を受けた。



2003.9

臨床研修指定病院 指定

臨床研修制度の義務化により医師人材の流動化の懸念に対応するため、医師臨床研修制度の指定を取得。



臨床研修の様子



リハビリテーションの様子



2005.12

「樋谷荘」天皇陛下より御下賜金 拝受

県内の福祉事業所の中で唯一の選出であり、創設以来積み重ねてきた地域福祉への取り組みが評価された。



御下賜金 拝受



電子カルテ導入前



電子カルテ導入

2008.2

電子カルテ 導入

診療の質向上と業務効率化を目的に電子カルテを導入。情報を一元管理し、医師・看護師間の連携を強化、診療記録の迅速な共有と検索を可能にした。

2006.3

ISO9001:2000 認定取得

顧客満足度の向上、業務効率化、対外的信頼の確保を図り、職員教育や組織づくりを強化した。



ISO9001認証

- 2009年2月 愛媛県高次脳機能障害相談支援協力機関 指定
- 2009年3月 訪問リハビリテーション事業所アイリス 開設
- 2009年6月 DPC(診断群分類包括評価) 導入
- PICK UP** 2009年 県立三島病院 民間移譲
- 2010年4月 理事長・病院長が石川 賀代へ交代
- PICK UP** 2010年4月 愛媛大学大学院医学系研究科 地域医療再生学講座サテライトセンター 設置
- 2010年10月 第1回地域医療講演会 開催(以降毎年開催)
- 2010年11月 EPA(経済連携協定)による外国人看護師候補生 受け入れ開始
- 2011年4月 地域密着型介護老人福祉施設・短期入所(入所定数39名) 小規模多機能型居宅介護(登録25名) 山田井の郷 開設
- PICK UP** 2011年6月 医療法人健康会 設立 石川クリニック 開院



DPC勉強会



山田井の郷外観

- 2012年2月 「ケアハウス虹の里」特定施設入居者生活介護 指定
- 2012年4月 愛媛県大学医学部附属病院との間に 医療連携に関する協定を締結
- 2012年4月 愛媛県がん診療連携推進病院 指定
- 2012年5月 厚生労働省在宅医療連携拠点事業 採択
- PICK UP** 2012年11月 社会医療法人認定 新法人名「石川記念会」
- 2013年1月 介護員養成研修事業者(2級課程) 指定
- PICK UP** 2013年4月 HITO病院 開院(許可病床数257床)
- 2013年4月 HCU(高度治療室) 開床(12床)
- 2013年4月 緩和ケア病棟 開床(17床)
- 2013年6月 美容外科Be 開設



美容外科Be

2009 2013

2009

県立三島病院 民間移譲

宇摩圏域の救急医療を担う4病院のうち、県立三島病院は医師不足により、経営難に陥っていた。この状況を受け、地域医療再生計画に基づき病院の民間移譲が進められ、104床が移譲された。これに伴い、新病院の全面新築移転が決定。石川繁一が理事長・病院長を退任し、長女の石川賀代が就任した。

2010.4

愛媛大学大学院医学系研究科 地域医療再生学講座サテライトセンター 設置

宇摩圏域の持続可能な地域医療を目指し、当院に「サテライトセンター」が設置され、医師2名の派遣が決定。2012年には医療連携に関する協定を締結した。



サテライトセンター(設置当時)

2012.11

社会医療法人認定 新法人名「石川記念会」

救急医療や災害医療など地域に不可欠な医療を安定的に提供するため、より公益性の高い医療の提供を目指し、医療法人から社会医療法人へ転換。



HITO病院外観

理念と基本方針

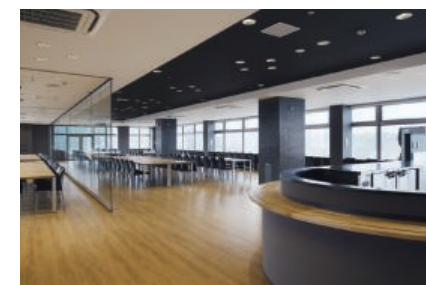
HITO VISION

- ・ ミッション 「誰からも選ばれ、信頼される病院を目指す」
- ・ 経営理念 HITOを中心に考え、社会に貢献する
- ・ 行動規範 Human 1st.
- ・ 具体的なアクション
 - Humanity** 患者さまを家族のように想い、温かく接します。
 - Interaction** 患者さまとの対話を尊重し、相互理解に努めます。
 - Trust** 技術と知識の研鑽に努め、信頼される医療を目指します。
 - Openness** 心を開き、患者さまと公平に向き合います。

2013.4

HITO病院 開院(許可病床数257床)

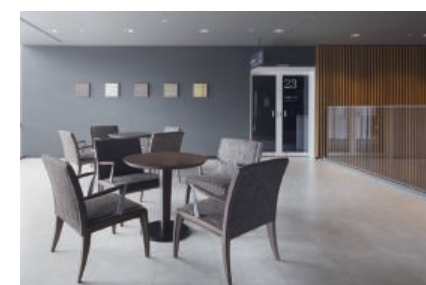
HITO病院誕生。石川病院の「どんな患者も見捨てない」「患者を家族のように思う」という想いを基に、理念と基本方針を確立。



HITO病院11FレストランSORA DINING



HITO病院受付



HITO病院内視鏡待合

【基本理念】 地域に選ばれ、地域を支え、地域から信頼される医療と看護・介護のケアを

【行動指針】 常に感謝と思いやりの心を持つ
日々、知識と技術の自己研鑽・自己啓発に努める
自らのプロフェSSIONALとしての力を十分に発揮する

2011.6

医療法人健康会 設立 石川クリニック 開院

地域医療へのさらなる貢献を目指し、石川繁一は71歳で医療法人健康会を設立し、『石川クリニック』を開院。長年培った医療・福祉の経験を生かし、地域に寄り添う医療を実践する場とした。自ら診療にあたり、患者との対話を重視することで、地域医療の原点を再確認する機会となった。



石川クリニック開院

2014年4月 附属保育所「HITOKIDS」新築移転

PICK UP 2014年4月 地域密着型介護老人福祉施設
短期入所・グループホーム・デイサービスセンター三島の杜 開設

2014年4月 介護老人保健施設アイリス健康会にてベット数を30床増床
新築移転(入所定数110名)

PICK UP 2014年4月 脳卒中センター 開設

2014年9月 地域包括ケア病棟 開床(53床)

2014年9月 サービス付き高齢者向け住宅レインボー 開設(入所定数40名)

PICK UP 2015年4月 特別養護老人ホーム豊寿園・短期入所・
老人デイサービスセンターひうち荘 四国中央市より移譲

2015年7月 創傷ケアセンター 開設

2015年9月 定期巡回・随時対応型訪問介護看護いしかわ 開設

PICK UP 2015年10月 障がい者デイサービスひのたに 開設



三島の杜外観



定期巡回・随時対応型訪問介護看護いしかわ

2015年11月 糖尿病センター 開設

2016年4月 人工関節センター 開設

2017年1月 未来創出HITOプロジェクト 開始

2017年1月 統合型歩行機能回復センター 開設

PICK UP 2017年4月 特別養護老人ホーム萬翠荘・短期入所
居宅介護支援事業所すいは
老人デイサービスセンターみどり荘
四国中央市より移譲

PICK UP 2017年4月 養護老人ホーム敬寿園 四国中央市より移譲

2017年4月 ヘルパーステーションいしかわ
障がい者サービス(居宅介護、重度訪問介護) 指定

2017年7月 術中CTAIRO 日本初導入



ヘルパーステーションいしかわ



AIRO

2014 2017

2014.4

地域密着型介護老人福祉施設

短期入所(入所定数39名)

グループホーム(入所定数18名)

デイサービスセンター(定員12名)

三島の杜 開設

四国中央市第5期介護保険事業計画の公募事業に愛美会が開設事業者として選定。市内中心部で、地域の財産となるよう、特養・短期入所・グループホーム・デイサービスを併設し総合的なサービス拠点となっている。



三島の杜・石川クリニック・アイリスの竣工式

2014.4

脳卒中センター 開設

【センターについて】

高度急性期から、がん・脳卒中・心疾患・糖尿病の4疾病を中心とする専門治療を見据え、5つのセンターを設置。センター化により専門性の高い医療体制を整備し、スペシャリストによる多職種協働のチーム医療を推進した。

【脳卒中センターについて】

一刻を争う脳卒中に対し、より迅速な診断・治療を提供するために開設。宇摩圏域内で唯一の施設として体制を整えた。



豊寿園外観

2015.4

特別養護老人ホーム豊寿園・短期入所(入所定数60名)

老人デイサービスセンターひうち荘(定員25名) 四国中央市より移譲

四国中央市が進める高齢者施設の民間移譲に伴い、公募により特別養護老人ホーム豊寿園、老人デイサービスセンターひうち荘の運営法人として愛美会が採択された。この移譲は、地域に根ざした福祉

の充実を目指す当法人にとって大きな節目であり、これまで培った医療・介護の経験を活かし、質の高いサービス提供に向けた新たな挑戦となった。

2015.10

(定員20名)

障がい者デイサービスひのたに 開設

排泄・食事の介助を受けながら、機能訓練や創作的活動の機会の提供を受ける障害者総合支援法に基づいた生活介護事業所。



利用者と企業とのコントローラー開発(eスポーツ)

2017.4

特別養護老人ホーム萬翠荘・短期入所(入所定数90名)

居宅介護支援事業所すいは

老人デイサービスセンターみどり荘(定員30名)

四国中央市より移譲

四国中央市の公募により、愛美会が特別養護老人ホーム萬翠荘、居宅介護支援事業所すいは、老人デイサービスセンターみどり荘の運営に選定、地域福祉のさらなる充実を目指す取り組みを進めた。



萬翠荘外観

2017.4

(入所定数50名)

養護老人ホーム敬寿園

四国中央市より移譲

地域福祉のさらなる充実を図るため、養護老人ホーム敬寿園の運営を、愛美会がアイリス移転後の跡地を改修し、引き継ぐこととなった。



敬寿園外観



デイサービスの様子

- PICK UP** 2018年1月 絆プロジェクト 開始
- 2018年4月 総合診療専門研修プログラム 開始
- 2019年4月 一般社団法人日本脳卒中学会「一次脳卒中センター」認定
- 2019年6月 外国人技能実習生 導入
- 2019年7月 脳卒中ホットライン 開設
- PICK UP** 2019年8月 機能回復センターHITO Plus 開設
- 2020年1月 日本看護協会
「看護業務の効率化先進事例アワード2019」優秀賞
- 2020年5月 オンライン診療 開始
- PICK UP** 2020年5月 石川 繁一 藍綬褒章 受章



看護業務の効率化先進事例アワード



オンライン診療

- 2020年5月 ケアHOMEピース 開設(登録29名)
- 2020年10月 萬翠荘ベット数を54床増床(入所定数138名)
- PICK UP** 2021年4月 香川大学 医学部・医学系研究科
肝・胆・膵内科学先端医療学講座 設置
- PICK UP** 2021年4月 心・脳血管疾患センター 開設
- 2021年5月 SCU(脳卒中集中治療室) 開床(6床)
- PICK UP** 2021年8月 看護師特定行為研修指定研修機関 指定
- 2021年9月 徳島大学大学院
医歯薬学研究部 地域脳神経医療学分野 設置
- 2021年9月 愛媛県救急医療功労者知事表彰 受賞



SCUのカンファレンス風景

2018 2021

2018.1 絆プロジェクト 開始

地域包括ケアシステム
の推進に向け、市民・
行政・医療機関・企業
と連携し、未病・予防・
健康増進を図るプロ
ジェクトを開始した。



絆カード



装着型サイボーグを用いたトレーニングの様子

2019.8 機能回復センターHITO Plus 開設

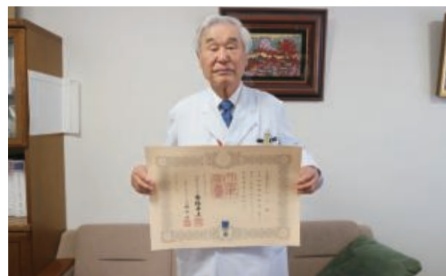
脳卒中後遺症のある方を対象としたフィジカルトレーニング施設を開設。最新の装着型サイボーグを用いたトレーニングも導入した。



HITOPlus内観

2020.5 石川 繁一 藍綬褒章 受章

長年にわたり地域医療・福祉の発展に尽力してきた功績が認められ、石川繁一が藍綬褒章を受章。この栄誉は、地域に根ざした医療・介護の実践を通じて多くの人々の生活を支えてきた取り組みの成果であり、法人の歩みが社会的にも高く評価された証となった。



藍綬褒章

2021.4 香川大学 医学部・医学系研究科 肝・胆・膵内科学先端医療学講座 設置

香川大学との連携により、肝臓・胆嚢・膵臓疾患の高度医療を提供体制と、若手医師の育成を目的に設置。



超音波内視鏡下穿刺吸引術(EUS-FNA)



心・脳血管疾患センター開設

2021.4 心・脳血管疾患センター 開設

脳卒中センターから心・脳血管疾患センターへ変更。心臓病と脳卒中という緊急性の高い疾病に24時間365日対応できる体制を整え、SCUを開床した。



看護師特定行為研修 開講式

2021.8 看護師特定行為指定研修機関 指定

ケアミックス型で多職種協働のチーム医療を推進している当院の強みと、後方支援や在宅医療部門を持つ石川ヘルスケアグループの強みを活かし、幅広い分野で活躍できる看護師の育成を目指して開設。

- 2022年1月 脳画像解析プログラム「iSchema View RAPID」四国初導入
- 2022年3月 第二種感染症指定医療機関 指定(4床)
- 2022年4月 内科専門研修プログラム 開始
- PICK UP** ■ 2022年9月 令和4年度救急医療功労者厚生労働大臣表彰 受賞
- 2022年11月 「多職種協働セルケアシステム」商標登録
- 2023年1月 日本看護協会「看護業務の効率化先進事例アワード2022」優秀賞
- PICK UP** ■ 2023年3月 四国中央市と「災害時における指定福祉避難所の設置運営に関する協定」締結
- PICK UP** ■ 2023年4月 石川繁一医療・介護教育支援助成金制度 創設
- 2023年7月 「スマートグラスを活用した未来型看護の実証実験」開始
- 2023年7月 病院広報アワード2023 初代「病院広報アワード大賞」受賞
- 2023年8月 経尿道的前立腺吊り上げ術「UroLift」愛媛県初導入
- 2023年9月 紹介受診重点医療機関 指定



スマートグラスを活用した見守り看護

- PICK UP** ■ 2023年10月 一般社団法人i shikoku holdings 開設
- 2023年10月 内視鏡センター 開設
- 2024年1月 スマートグラスによる遠隔診療実現に向けたクラウドファンディング 実施
- PICK UP** ■ 2024年1月 戦略的病床ダウンサイジング(228床)
- 2024年4月 DMAT(災害派遣医療チーム)隊員 誕生
- 2024年7月 第一・二種協定指定医療機関 指定
- 2024年7月 ドクターカー 導入
- 2024年10月 検疫感染症疾患患者等に係る入院委託協定
- 2025年2月 ロボティックアーム手術支援システム「Makoシステム」東予初導入
- 2025年5月 介護老人保健施設アイリス ノーリフティング推進事業所 選定
- 2025年11月 石川 繁一 瑞宝双光章 受章
- 2026年1月 デイサービスしろした 新築移転予定(定員30名)



デイサービスしろしたを新築移転予定

2022 2025

2022.9

令和4年度救急医療功労者 厚生労働大臣表彰 受賞

多年にわたり地域の救急医療に貢献した功績が評価され、国から表彰を受けた。



2023.4

石川繁一医療・介護教育 支援助成金制度 創設

次世代の医療・介護を担う人材育成を目的に、石川繁一が私財を投じて基金を設立し、働きながら資格取得に挑戦する職員を支援する制度を創設した。

2023.3

四国中央市と「災害時における指定福祉 避難所の設置運営に関する協定」締結

災害時において、特に支援が必要となる高齢者や障がい者の人の安全を確保するため、四国中央市と「災害時における指定福祉避難所の設置運営に関する協定」を締結した。この協定は、地域の福祉施設が災害時における避難の受け入れ先として機能する体制を整えるものであり、愛美会が地域防災の一翼を担う重要な役割を果たすことを意味している。



避難所運営の模擬体験



災害発生時の対応を学ぶ出前講座



Makoシステム

2023.10

一般社団法人i shikoku holdings 開設

石川ヘルスケアグループ内の人的資源を有効に活用するとともに、地域社会の持続可能性を高めるプラットフォームとして設立した。



i shikoku holdings

2024.1

戦略的病床ダウンサイジング(228床)

高齢者人口がピークを迎える2040年に向けて、戦略的なダウンサイジングによる生産性向上の実現を決断。



ノーリフティング推進事業所



ドクターカー